



自転車社会の環境改善を目指して No.62

全国自転車活用推進フォーラム

～第6回自転車利用環境向上会議in愛媛・松山～

文

特定非営利活動法人
自転車活用推進研究会 理事

中村利恵

自転車活用推進研究会 事務局：
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 4階
TEL 090-5301-3207 FAX 03-6409-6803
URL <http://www.cyclists.jp/>



昨年、11月10日(金、11日(土)の2日間松山市総合コミュニティセンターにて「全国自転車活用推進フォーラム～第6回自転車利用環境向上会議in愛媛・松山～」が開催された。2012年、金沢市から始まり、宮崎市、宇都宮市、京都市、静岡市を経て6回目となる。今までは市が開催都市となってきたが、今回は「しまなみ海道」、「愛媛マルゴト自転車道」などの積極的な自転車関連施策を展開している愛媛県とロープウェー街や花園通りにおいて、歩行者や自転車空間への街路空間の再構築を実施している松山市との共催となった。

また、昨年5月に施行された自転車活用推進法により、地方自治体において地域の実情に応じた自転車活用推進計画の策定が求められていることも踏まえ、催しのタイトルに「全国自転車活用推進フォーラム」が掲げられた。

北海道から沖縄まで全国各地から約370名が集まった。プログラムは盛りだくさん。

1日目の午後からカメラアホールにて愛媛県知事 中村時広氏、松山市長 野志克仁氏による開会挨拶とともに、それぞれ自転車施策推進へ向けての取組についてお話しされた。基調講演は東京大学大学院工学研究科教授 羽藤英二氏による「都市計画の潮流と自転車の未来」。車中心の都市空間を歩行者・自転車中心へと変化していくことの重要性を事例とともにお話しいただいた。

その後事例発表として、①話題提供：「自転車の事故防止対策の推進について」警察庁交通局交通企画課 課長補佐 藤本真也氏からは自転車に関連する事故の動向やその防止への取組、②事例報告として沖縄県名護市政策調整官 小野雅春氏からは名護市と今治市との「自転車を通じたまちづくり交流協定」について。株式会社アーチヒーロー北海道 代表取締役 高橋幸博氏からはニセコのサイクルツーリズムがインバウンドで盛り上がっている様子とツアーガイドなどビジネスモデルについて

の具体例。真庭市産業観光部産業政策課 観光振興室 上級主事 栢野美圭氏からは自転車散走を通して、企業シマノと川崎医療大学との連携による健康増進効果の測定などの話があった。

そして参加者は展示ホールへ移動しポスターセッションへ。50にもなるポスターが壁一面に掲示され、それぞれ発表者との深い対話があり熱気に満ちていた(写真1②)。

ホールへ戻りさらに①話題提供：「(仮)自転車活用の推進に向けて」国土交通省自転車活用推進本部事務局次長 大野昌氏、②トークセッション：「愛媛県の自転車新文化推進の取組み」をテーマにコーディネータは特定非営利活動法人自転車活用推進研究会 理事長 小林成基氏。パネリストは特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ 代表理事 山本優子氏、愛媛県教育委員会事務局指導部長 長井俊朗氏、愛媛県企画振興部総合政策課自転車新文化推進室長 坂本大蔵氏、松山市都市整備部都市・交通計画課長 石井朋紀氏によるトークセッションが行われた。

懇親会はポスターセッションのあった展示ホールで開催され、ポスターに囲まれながら地酒と共に歓談が続いた。

展示ホールでの懇親会。2日目午前中は4つに分かれた分科会、ホールにて分科会のまとめ、閉会、昼食を挟んでしまなみ海道サイクリング体験班と松山市内での自転車走行空間の取組現状見学班と2つの現



地視察があった。また連日、ホール前のロビーでは「企業・団体展示ブース」があり、「OFO」、「モバイク」、「ポロクル」ほか9つのブースが展示し、2人乗り自転車など試乗もあり、にぎわっていた(写真③④)。

2日目の午前中は4つの分科会。①通行環境～車道・一方通行の安全性は?～座長：徳島大学教授 山中英生氏、パネリスト：岩手県立大学名誉教授 元田良孝氏、警視庁交通部交通規制課主査 海老澤綾一氏、松山市都市整備部都市・交通計画課長 石井朋紀氏。②安全・教育～何を教えるのか?～座長：茨城大学教授 金利昭氏、パネリスト：地球の友・金沢 三国成子氏、大阪市立大学准教授 吉田長裕氏、愛媛県警バイシクル・ユニット隊員 京都市交通局自転車政策推進室長 志渡澤祥宏氏、特定非営利活動法人自転車活用推進研究会 理事 藤本典昭氏。③ツーリズム～「しまなみ」に学ぶこれからのサイクルツーリズム～座長：自転車利用環境向上会議全国委員会幹事 小路泰広氏、パネリスト：サイクルライフナビゲーター 絹代氏、一般社団法人コグウェイ海外担当 デイクソン江梨氏、株式会社アーチヒーロー北海道 代表取締役 高橋幸博氏、愛媛県企画振興部総合政策課自転車新文化推進室長 坂本大蔵氏、特定非営利活動法人自転車活用推進研究会 理事長 小林成基氏、他数名のポスター発表者。④まちづくり～自転車をまちづくりにどう活かすのか?～座長：北陸大学名誉教授 三国千秋氏、パネリスト：伊予鉄道株式会社 常務取締役運輸本部担当 中尾均氏、認定NPO法人ポロクル 事務局長 熊谷美香子氏、真庭市産業観光部産業政策課観光振興室 上級主事 栢野美圭氏、特定非営利活動法人自転車活用推進研究会 事務局長 内海潤氏、公益社



団法人日本交通計画協会 企画室長 三浦清洋氏。

その後ホールへ集まり各分科会座長によるまとめのコメント、三国成子氏による閉会の挨拶があった。実は前日の懇親会で発表されたのだが、会議、運営を継続して行くために母体となる「自転車利用環境向上会議全国委員会」が組織された。会長は地球の友・金沢 三国成子氏、副会長は徳島大学 山中英生教授、特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会 小林成基氏らが中心となってこれから支えて行くことになる。

現地視察の報告も述べたいのだが、もう一つ重要な会議が開催されたことに触れたい。1日目の午前中に「全国自転車議員ネットワーク 第一回目会議」が開催された。全国議員ネットワークは昨年5月に施行された「自転車活用推進法」の活用に向けて、すべての自治体でさらに推進していくため、牽引役でもある都道府県議員、市区町村議会議員が政策ネットワークを形成し、全国の先駆的な政策事例などに、互いに情報と意見を交換し、地域内の移動の高度化を進めて行く目的の組織である。現在39名の議員が登録している。

会議に参加したのは堺市議会 西哲史議員、仙台市議会 石川けんじ議員、群馬県議会 井田泰彦議員、松山市議会 宇野浩議員、渋谷区議会 小柳まさや議員、和

光市議会 齊藤克己議員、広島県議会 佐藤一直議員、小牧市議会 佐藤大輔議員、多摩市議会 藤條たかゆき議員、世田谷区議会 樋内優子議員、四日市市議会 平野貴之議員、京都市議会 吉田孝雄議員。徳島大学教授 山中英生氏による基調講演のほか、事務局・自活研 小林成基氏、西議長のもと、推進に向けてのロードマップ、自転車レーン、ママチャリ、海外との比較、教育、具体的なレーン施工コストなど様々な議論が交わされた(写真⑤)。

このように今回はまさに多様な自転車利用環境に関わる人たちが集まり、深く熱い議論が交わされた。参加者も今後の推進、活動に向けての出会い、ヒントが持てたと思う。そして充実した開催がスムーズに行われたのは裏方も含めたスタッフ尽力があったからこそだと感じる。ここで感謝の意を表したい。次回の開催は堺市。自転車利用環境向上が人々の暮らしの向上にしさらにつながるとともに日本から世界に発信していくことも期待したい。

PP